

○「農家アンケートの結果の活用は」

(京都府綴喜郡井手町第5回地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年6月10日午前10時20分～
- 場 所: 井手町自然休養村管理センター
- 出席者: 委員11人
事務局 菱本事務局長、坂井担当
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 本町の西側を木津川が南北に流れ、東側には山地が広がり、中央部にJRが南北に走っている。
- 農地は、主に木津川とJRに挟まれた平坦部に広がり、米を中心に筍、茶が栽培されている。
- 担い手が少なく、高齢化により、ほ場条件の悪い山手の農地で遊休化が進んでいる。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 4月の地区連絡会議で、現地推進役から京都府農業委員会系統組織統一運動計画を説明し、5月の地区連で井手町農業委員会として「農家アンケート」の実施を決定した。
- 今回、京都府農業会議が例示したアンケートに、井手町独自の質問を追加し、また委員の意見を反映したアンケート(案)を提出し、意見交換を行った。
- 委員からは、「平成27年に実施したアンケート結果は何に利用されたのか」、「前回の結果はデータで残っているのか」、「対象農家はどうするのか」等の質問があり、結果の利用に対する関心の高さがうかがわれた。
- 今後、JAや府関係機関の意見を聞き、7月にはアンケートを全農家に郵送する予定です。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援